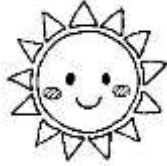


おひさまだより



2025.8.30（土）

認定こども園みゆき

気温が下がる朝晩には秋の虫の鳴き声がきこえるようになり、やんわりと秋を感じられるようになってきました。とはいっても日中はまだまだ暑く残暑が続きそうです。気温の変化に気をつけながら元気に過ごしていきたいですね。

9月は防災月間

9月1日は防災の日。9月は防災月間です。防災の日は台風、豪雨、地震、津波などの自然災害に対する認識を深め、災害に備えることを目的として1960（昭和35年）に制定されました。1923年に発生し甚大な被害をもたらした関東大震災や1959年に発生し戦後最大の被害をもたらした伊勢湾台風が、制定のきっかけともされています。近年は、気候変動に伴い災害についてより身近に感じるようになっていきます。日頃から意識を高め、事前の備えをするように心掛けて行きたいですね。どんな備えをするのが良いのか、いざという時どのように行動するのかこの機会に考え、家庭でも確認をしておきたいですね。

●いざという時の備えや非常持ち出し袋を用意

中身は一人で持ち出せる最低限のものにし、一年に一度は必ず点検、電池やミネラルウォーター、缶詰などは古くなっていけば新しいものと交換します。その他にも、災害直後には持ち出せなくても後々使用できるように水やインスタント食品を別にストックしておく心安心です。



マスク、アルコール消毒、体温計をお忘れなく。

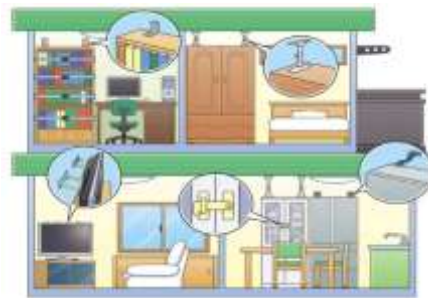
●避難場所の確認をしておきましょう。

各地域の避難場所は福山市のホームページで確認できます。危険な区域、安全な区域を確認しておき避難する際に速やかに行動できるようにしましょう。



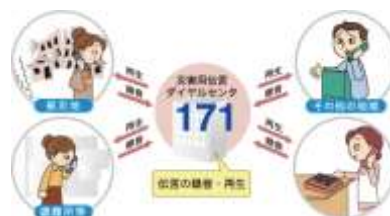
●不安定な家具、危険な物がないかなど点検をしてみましょう。

災害が起きた際の怪我のリスクを減らすため、避難経路に家具を置かない工夫や本棚や食器棚、タンスなど、壁に固定できるグッズで家具が倒れないようにするための工夫をしておきましょう



●「災害用伝言板」サービスなどを利用しましょう。

大規模な災害時は電話回線がつながりにくくなるため、連絡がとれない場合があります。その時は、携帯電話や



スマートフォンで安否確認ができる「災害用伝言板」サービスなど利用しましょう。

各通信会社の体験サービスを利用して日頃からの準備しておくことが役に立ちます。

●在宅避難

ハザードマップで自宅の災害リスクを確認し、安全が確保できる場合は自宅にとどまって避難生活をすることも検討しましょう。



9月の保健指導

9月16日(火)の保健指導は、「防災について知ろう」について行ないます。

8月の保健指導では、鼻のはたらきや鼻の中に細菌やウイルスが入ったらどうなるかを一緒に考え、鼻のとり方についてもお話していきました。

9月の当番医

7日(日)	日野ホームクリニック内科小児科	923-1939 (御門町)	米田耳鼻咽喉科クリニック	970-1030 (駅家町)
14日(日)	クリニック和田	953-8292 (多治米町)	西町クリニック耳鼻咽喉科	927-3322 (西町)
15日(月)	小池病院／小児科	932-3512 (光南町)	東川耳鼻咽喉科医院	923-3333 (御門町)
21日(日)	日野内科・小児科クリニック	957-7222 (新涯町)	竹内耳鼻咽喉科	940-4666 (春日町)
23日(火)	上原医院	948-2101 (幕山台)	岡本耳鼻咽喉科医院	961-0017 (御幸町)
28日(日)	大日方小児科医院	923-0798 (光南町)	まつおか耳鼻咽喉科	968-0187 (水呑町)

小児の休日・夜間の診療については、[福山夜間小児診療所\(年中無休\)084-922-4999](#)で受け付けています。診療時間は19:00~22:30(受付は22:15まで)です。

早めの受診を心がけ、できるだけかかりつけの病院を受診しましょう